

令和3年9月2日付【水道産業新聞】
 「下水道コンセッションを考えるシンポジウム」
 <官民連携の重要性強調>



重要性の増す官民連携を巡って意見交換したシンポジウム

下水道コンセッションをテーマ

水コン協 シンポジウム 官民連携の重要性強調

全国上下水道コンサル
 タント協会（会長＝村上
 雅亮・NJS社長）は8
 月18日、下水道展併催企
 画として「下水道コン
 セッションを考えるシン
 ポジウム」をインテック
 ス大阪で開催した。下水
 道分野において採用例が
 増えつつあるコンセッ
 ションを巡り、水コンサ
 ルタントの役割などにつ

いて他分野の事例も踏ま
 えて意見交換を行った。
 冒頭、村上会長は「重
 要なインフラである下水
 道は多くの課題を抱え
 る。持続可能な下水道事
 業への取り組みは、官民
 連携が重要であり、その
 典型がコンセッション。
 今後、さらに実績を積み
 上げる必要がある」とあ
 いさつ。

続いて、森田弘昭・日
 本大学生産工学部教授が
 「下水道コンセッション
 の現況と課題」と題して
 基調講演を行った。コン
 セッション方式の概要、
 管理者の意思決定に関す
 る課題、コンセッション
 のレビューなどについて
 語り、その中で浜松市、
 須崎市、三浦市、宮城県
 など事例を紹介。「官民

連携の需要が増大するな
 か、民間は自治体の一部
 として公共サービスの一
 翼を担う覚悟が必要であ
 り、事業計画・企画調
 整にかかる民間の力量
 と裁量の保持が不可欠」と
 語った。
 パネルディスカッショ
 ンでは、水コン協官民連
 携推進WGの西澤政彦
 氏（NJS）がコーディネ
 ーター、パネリストは
 森田教授、高野秀幸・国
 土交通省下水道部下水道
 企画課企画専門官、藤井
 良和・日本下水道事業団
 ソリユーション推進部次

長、高橋正章・メタウオー
 ターPPP本部プロジェ
 クト運営部長、高田達也・
 高松空海務取締役企画
 管理部長、水コン協官民
 連携推進WGの星信太郎
 氏（日本水コン）らが務め
 た。

最初に、他分野の事例
 として高田事務取締役が
 「民営化の最大のメリッ
 トは事業ごとにバラバラ
 だった目標や成長戦略を
 一体化し、空港全体の共
 通認識とすることができ
 たこと」と説明。続いて
 「コンセッションの事業
 計画・企画調整は自由度
 が高く水コンサルタント
 に魅力がある」「JSは
 今年4月にPPP・広域
 推進課を新設し、地域の
 実情に合った事業方針の
 提案や持続可能な下水道
 事業運営の支援を強化し
 ている」、さらに愛知県
 豊川浄化センターPPFI
 や大船渡市施設改良付包
 括運営事業の事例紹介な
 ども行いながら、活発な
 意見交換を行った。